

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 鎌ヶ谷市 (都道府県: 千葉県)  
 本事業の担当部局名 健康福祉部こども支援課

事業メニュー	結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり機運醸成事業					
区分	重点メニュー					
関連事業メニュー	3.2.5 子育て家庭やこどもとの触れ合い体験					
個別事業名	鎌ヶ谷市乳児ふれあい事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続			
実施期間	令和6年4月1日	～	令和7年3月31日	事業開始年度	令和元年度	
対象経費支出予定額 ※(注)1	285,000				円	
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題)※全事業共通 鎌ヶ谷市総合基本計画前期基本計画では、少子化対策として重点プロジェクトを設定し、未来を担う子どもとその家庭の支援及び子どもを産み育てやすい環境を構築するため、①妊娠・出産・子育て期の家庭に対する施策の重点化②安全で安心な教育環境の確保③生きる力をはぐくむ特色ある学校づくりを推進し、子育て世代が「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりに取り組むこととしている。 また、鎌ヶ谷市子ども・子育て支援事業計画においても、①すべての子どもが健やかに成長できるための支援②きめ細かな支援が必要な子ども・子育て家庭への支援③子どもを産み育てる家庭への支援④社会全体で“子育て”を支えるための環境整備に取り組むこととしている。 一方、地域の実情として、平成25年度の婚姻数520人、人口1,000人あたりの婚姻率4.8%、出生数878人、合計特殊出生率は1.33であったのに対し、令和4年度は、婚姻数412人、人口1,000人あたりの婚姻率3.8%、出生数623人、合計特殊出生率は1.14となっており、婚姻数、婚姻率、出生数及び合計特殊出生率全てにおいて減少傾向にある。					
	(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け) <当年度の少子化対策の全体像>※全事業共通 本市では、子育て世帯に対して、高校生までの子ども医療費助成、多子世帯の保育料及び給食費の減免を実施しているほか、保育所等の待機児童ゼロの継続など様々な子育て支援事業を展開している。 また、令和6年3月には、今まで児童センターが未整備となっていた鎌ヶ谷市の東部地区に新たな子育て支援の拠点となる東部児童センターを整備したことで、市内の全ての地区に子育て拠点の整備が完了した。居住地の近くで子育てに関する相談ができ、子育てにおける孤立感をなくし、より子育てしやすい環境を提供することで、引き続き少子化対策に取り組んでいく。					
	<本個別事業の位置付け> 本事業は若い世代の結婚、妊娠、出産への希望を叶える取り組みとして、若い世代に対し、乳児及び母親と触れ合う機会を設けることで、子育てに対する具体的なイメージを持ち、早い時期から自分の希望に沿ったライフプランを考える機会を提供するものである。					
	(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)) 本事業は、若者世代が乳幼児とのふれあいの中で、結婚や子育てなど、将来像を希望を持って描く機会を提供することで、地域少子化対策に繋げる事業である。新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度から令和4年度までの間中止としていたが、令和5年度については、感染症対策を徹底しつつも、事業を縮小し、高校生対象事業のみ実施した。 令和6年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大前と同様に、中学生・高校生両方で実施できるよう、関係部署と検討・調整する。					
個別事業の内容 ※(注)3	番号	項目	内容		ステップアップ	KPI設定
	1	①市内の中学生及び高校生を対象とした乳児ふれあい体験事業	市内中学校や教育委員会と連携し、子どもたちの発達段階に応じた、命の大切さや心身の変化について学習し、将来の結婚・子育てについての理解を深める教育を行う。併せて、市内1中学校において乳児とのふれあい体験を実施し、男女とも子育てへの理解を深める。また、市内の県立高校2校において、乳児とのふれあい体験を通じて、参加親子から子育ての話などを聞くことで、将来働きながらの子育てなど、より将来に対する具体的なイメージを持てるきっかけづくりとなるよう教育を行うとともに、子育てへの理解を深める。事業実施後には、報告書等を作成し、ホームページ等で公開することで、今年度乳児ふれあい事業の対象校ではなかった中高生にも情報提供を行う。		○	○
2	②乳幼児健診等における事業周知・参加協力親子の募集	乳幼児健診や地域子育て支援拠点事業等の、乳幼児親子の集まる他事業において、周知用物品の配布等により本事業の周知と協力親子の募集を行う。地域少子化対策重点推進交付金関係の他事業との連携や、ソーシャルメディアなどを活用し、参加協力親子の応募者数の増加に繋げていく。		○	○	
【次年度以降に向けた事業の方向性】 若い世代への普及啓発効果をいきわたらせるため、乳児ふれあい体験事業を継続的に実施していく。						
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 ・岐阜県 ライフプランを考える啓発プロジェクト ・岡山県 「岡山県妊孕性等普及啓発標準プログラム」作成事業 ・文京区 文京ハッピーベビープロジェクト						

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
		合計特殊出生率		%	1.14より上昇(令和8年度)
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.14(令和4年度)	
	婚姻件数		件	412(令和4年)	
婚姻率			3.8(令和4年)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容番号	項目			
	(アウトプット)				
	1	乳児ふれあい体験事業参加生徒数(中学校・高校分計)	人	550	786(R1実施時)
	2	募集定員に対する参加者数の割合(参加対象生徒の出席率)	%	100	100(R1実施時)
	3	ふれあい体験事業参加協力親子数(実施各回平均)	人	23.5	23.1(R1実施時)
	(アウトカム)				
	1	中学校・高校におけるライフデザイン教育を通じて「人生設計(ライフプラン)について考える機会を持てた」と感じる者の割合(満足度)	%	80	—
	2	中学校・高校における乳児ふれあい体験事業を通じて、「あかちゃんのいる生活について考える機会を持てた」と感じる者の割合(満足度)	%	80	—
	3				
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	千葉県との連携として「千葉県ホームページでの掲載」及び、千葉県で運用している「チーパス・スマイル(スマートフォンアプリ及びウェブサイト)」を活用し、事業の周知を図る。				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	無				

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。  
 2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。

- ①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題
- ②当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け
- ③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自主的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和6年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中で本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。